

「佐渡芸能に触れてみる1時間」を本年も開催！

佐渡の多様な芸能を、解説と共に上演し、その後のワークショップで芸能に直接触れることのできる催し「佐渡芸能に触れてみる1時間」を本年も開催します。

■「佐渡芸能に触れてみる1時間」とは？

佐渡は金山の発展に伴い全国から人が流入し、各地の芸能が持ち込まれ、芸能の宝庫とも呼ばれます。

この催しでは、1時間の中でコンパクトに佐渡の芸能の奥深さを体感できるようにしています。毎回テーマを変え、前半はワンポイント解説でみどころをお伝えしたうえで芸能を上演し、後半はワークショップで実際に芸能に触れて、より身近に感じていただけます。

今年は全8回シリーズで、人形芝居・鬼太鼓・能楽・民謡などを取り上げ、それぞれの魅力をお伝えしていきます。



▲開催情報はコチラ



■開催情報

前期日程

- 第1回 6/21 大崎座と大崎集落の伝統芸能 ※開催済
文弥人形ほか「大崎そばの会でお馴染みの芸能を体験する」
- 第2回 7/12 小木さざ波会 ※開催済
民謡「小木おけさの踊りを身につける」
- 第3回 8/9 佐渡鷺流狂言研究会
鷺流狂言「狂言の軽妙さを楽しむ」
- 第4回 8/11 神月会
能「基本を体験し、能をもっと楽しむ」

後期日程

※詳細は決まり次第ポスター等で公表します

- 第5回 8/30 鷺崎鬼太鼓保存会
鬼太鼓 「テーマ未定」
- 第6回 9/6 後山宮青年
鬼太鼓 「テーマ未定」
- 第7回 11/8 なぎさ会
民謡 「テーマ未定」
- 第8回 12/6 佐渡人形芝居保存会
人形芝居太夫 「テーマ未定」

第1回「大崎座と大崎集落の伝統芸能」

6月21日、「大崎そばの会でお馴染みの芸能を体験する」をテーマに開催しました。大崎集落は現在の文弥人形芝居成立に名を残す大崎屋松之助の出身地であり、また「大崎そばの会」が開催されていることでも有名です。今回は文弥人形・ちょぼくり・蟹舞い・鳥刺しを取り上げてその内容や魅力についてお伝えしました。希望者のみの延長ワークショップでは、熱心に太夫に質問する参加者の姿が見られました。来場者からは「外国人を含めた島外の観光客だけでなく、島内の子供を含めた人たちにも佐渡の伝統芸能を広く知ってもらいたいと思いました」などの声が寄せられました。

■当財団職員が市民大学講座で講演を行います

9月9日(水)に行われる市民大学講座にて、当財団職員が「芸能調査からみる佐渡の鬼太鼓・民謡・人形芝居について」をテーマに、当財団のこれまでの芸能調査の蓄積から見てきた佐渡の芸能の現状について講演を行います。

○「市民大学講座」お問い合わせ先

佐渡市教育委員会 社会教育課社会教育係 電話 0259-58-7356 教育委員会ホームページに詳細情報あり

佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています！！

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何卒、ご支援をお願いいたします。



募集ページ



北鵜島集落で「車田植」が行われました

5月18日、両津地区北鵜島集落にある北村家の棚田で、国の重要無形民俗文化財に指定されている車田植が行われました。車田は末広がりで縁起が良いとされる釣鐘型をしています。

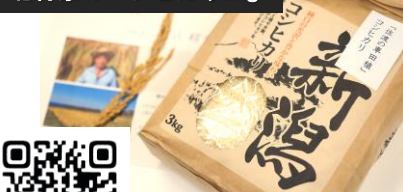
北村さんは朝、自宅の神棚にお神酒と三把の苗を供えて礼拝してから車田に向かいます。田植え前の儀式として、田にお神酒を注いで祈りを捧げた後、3人の早乙女に三把の苗を手渡します。早乙女たちは、田の中心に苗を植え、左回りで後退しながら植えていきます。その間、畔では田植え唄が唄われ、唄い手には、内海府小学校・中学校の児童生徒も参加しました。

ふるさと納税を利用した継承支援の取り組み

車田植は古くから続く伝統ですが、佐渡車田植保存会員の高齢化のため、継承が危ぶまれています。当財団では、ふるさと納税を活用した車田植の支援を本年も行います。「『佐渡の車田植』北村家のコシヒカリ3kg」を返礼品にお選びいただくと、売り上げが佐渡車田植保存会に寄付されます。

佐渡市のふるさと納税取り扱いサイトにて受付中です。詳しくは当財団ホームページをご覧ください。

北村家のコシヒカリ3kg



北村さんメッセージ動画

島内各地で春祭り開催

4月から5月にかけて、島内各地で春祭りが開催され、至るところで太鼓の音が響き渡りました。

その間、当財団では各地区の祭り情報の調査で、58件の開催について把握しています。近年の社会情勢の影響で、各地の祭りや芸能の継承が課題となる中で、今年は明るい話題も聞かれました。

沢根五十里にある白山神社の例祭では、田中青年会による豆まき型鬼太鼓の門付けが行われ、そこに小学5年生が演じる豆まきの翁がデビューしました。また鬼2匹も新しい顔ぶれとなり、打出しから大勢の方が神社に集っていました。朝の白山神社への奉納では、全員が素晴らしい芸を披露し、豆まきの翁や鬼の型がしっかりと次世代に引き継がれている様子をうかがえるお祭りでした。



小学生の豆まき翁に「よかったぞ！」などの歓声が響いた

島内祭り情報の公開開始

島内の鬼太鼓を見たい・まとまった情報が欲しいとの声に応え、各地区の鬼太鼓団体等から許可をいただき、祭り情報を当財団ホームページにて掲載する取り組みを本年1月より開始しました。今後、さらに掲載情報の拡充を図り、年間を通しての祭り情報の公開を目指しております。

鬼太鼓団体の皆様におかれましては、祭り情報の掲載へのご協力に改めて感謝いたしますとともに、引き続き鬼太鼓現状把握調査にご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年度「佐渡人形芝居親子教室」を開講します！

国の重要無形民俗文化財に指定されている佐渡の人形芝居。その一方で、継承の現場には、子どもの姿が少ない状況です。人形芝居を次世代に引き継ぐために令和4年から始まった「佐渡人形芝居親子教室」を、今年も開講します。今年は小学3年生から高校3年生まで対象を拡大し、9月下旬から全10回の教室を予定しています。募集開始時期は当財団ホームページやポスター等で決まり次第お知らせいたします。多くのお子様の参加をお待ちしています！

「第9回佐渡民謡の祝祭」開催決定！

佐渡の多くの民謡団体が集う祭典「佐渡民謡の祝祭」が、11月29日（日）に開催が決定しました！ 今年のテーマは「つどう～島に集えば、誰もが一緒につながる佐渡民謡の輪～」。詳細は今後、ポスター等で発表します！ 多くの方の来場をお待ちしております！

佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから

